



別府大学 News Letter



Vol. 11-2

食物栄養科学部 食物栄養学科

お知らせ：6月17日（日）食物栄養科学部

高校生セミナー開催

7月16日（月）（海の日）

第2回別府大学オープンキャンパス開催：

小泉武夫先生特別講演「21世紀は発酵の時代」

2年生のフランス研修

（平成24年3月）

3月3日～3月17日の間、今年もフランス研修旅行が実施された。参加した学生は44名。最初の1週間はフランス西部のアルカッション市にあるリセ・コンドルセ専門学校でフランス料理、フランス菓子、フルーツカット、テーブルデコレーションの研修を受けた。研修の合間にはボルドーやサンテミリオンの世界遺産を訪問した。サンテミリオン



ンでは、ワイン学校でワイン学の講義も受けた。最終日には各人に修了証書が手渡された。後半の1週間はロワール渓谷の古城巡り、モンサンミッシェル修道院やパリ市内を観光した。学生たちはフランス食文化に触れ、さらに多くの世界遺産を訪れることにより異国文化の理解を深めることができた。



第11期生、ご入学おめでとう！



一食と栄養のスペシャリストをめざしてー

平成24年4月5日（木）、別府大学入学式が行われ、食物栄養学科には69名の入学が許可された。新入生のはつらつとした表情が印象的だった。4月6日（金）には、学生生活や講義の履修登録に関するオリエンテーションが行われた。その中で星野学科長は、新入生に「栄養・食べ物を通して、人々の健康を維持・増進する仕事を行う管理栄養士を目指す上でも、自分自身の健康管理を徹底し、勉強では1年生の間は基礎科目の理解が大切である」と学生の公私にわたる自主的な自己規律の重要性を促した。引き続き、西澤（学生担当）、樋園（教務担当）両先生から生活、学習面の詳細な諸注意が行われた。4月9日（月）から前期の講義がスタートした。

星野学科長挨拶



オリエンテーション風景

新任の先生紹介&メッセージ



教授

藤井康弘先生

徳島大学大学院
栄養学研究科博士
後期課程を修

製薬会社の研究開発部門に入り、「健康人の健康維持・増進に貢献できる製品を世に出すこと」を目標に、長年、食品の機能性を基礎～ヒトまで評価する仕事に従事してきました。今後は、人々の健康維持・増進に貢献できる人を数多く世に送り出すことを目標に、皆さんの後押しをしたいと思っています。皆さんには、大学で勉・友・遊から色々な経験を積み人間としても成長してほしいです。



助手

阿部智実先生

別府大学

平成24年卒

今年の3月に食物栄養学科を卒業し4月から実験助手として働いています。特に妊婦に対する栄養教育に興味と関心を持ち、卒業論文は「妊婦教室が妊娠中及び出産後の食意識・食習慣に与える影響」について検討しました。今後も若い女性に対しての栄養教育の在り方を考えていきたいと思っています。悔いのない学生生活を送れるよう、夢と目標を持って一緒にがんばりましょう。

管理栄養士国家試験過去最高の合格率を達成！

5月7日に発表があった第26回管理栄養士国家試験で、本学科は過去最高の合格率を達成した。受験者67名中62名が合格したもので、合格率は92.5%の高水準となった。これは全国の管理栄養士養成課程（新卒）の合格率の91.6%を上回るもので、平素よりの様々な試験対策講座（2年次から）、特別合宿、集中講義および直前対策（4年次）、等での学生、教員の弛まぬ切磋琢磨が生み出した結果といえる。県内唯一の管理栄養士養成施設である本学科は、栄養状態の評価・判定にもとづいた栄養指導・栄養管理の専門性を持ち、高度な知識と技術を生かして健康に関する様々な指導、啓蒙活動を行う管理栄養士のさらなる育成を目指して、本年度以降も様々な取り組みを企画している。